

## フィールドワークゼミナール 中間報告会・合同説明会

### 【フィールドワークゼミナールって？】

学生が社会の現状を分析し、その中から社会が抱える問題を発見し、解決策を見出し、自らが率先してそれを遂行していく能力、すなわち社会的問題解決能力を養成していくことが、社会のニーズとして強まっています。そして大学には、高い問題解決能力を備えた学生を数多く社会へ輩出することが期待されています。

社会的問題解決能力は、講義によって得られる教養と専門知識を、フィールド(実社会の現場)において実際に活用させる実践教育によって、効果的な修得が可能となり、飛躍的に向上します。ゆえに、学生の問題解決能力をのばすためには、従来の座学による学びに加え、実践教育による学びの機会を提供することが重要となります。そこで、本学では、社会的な課題をテーマとしてフィールドワーク(現場での活動)に基づく演習を実施することで、社会が求める社会的問題解決能力を備えた人材の養成を図ります。

#### ・池田潔ゼミナール

「フィールドワークによる地域中小企業と中小企業によるまちづくりの研究」

#### ・東山明子ゼミナール

「フィールドワークによるスポーツ支援の在り方を考える」

#### ・原田禎夫ゼミナール

「フィールドワークによる河川環境保全の研究」

#### ・豊山宗洋ゼミナール

「若者の目線で高齢社会の就業を考えるー学外調査にもとづいた提言ー」

#### ・宮城博文ゼミナール

「フフィールドワークによる観光関連業と地域の連携」

#### ・宍戸邦章ゼミナール

「少子高齢化とまちづくりーフィールドワークで現状を理解するー」

#### ・糸野博行ゼミナール

「中小企業と産業集積の研究」

#### ・加藤司ゼミナール

「マーケティング思考によるフィールドワークゼミナールの実践」

#### ・桑島紳二ゼミナール

「アートによる地域活性化ーアートイベントの実践を通じて「公共」のあり方を考えるー」



	2年 長田 栞 (桑野ゼミ)	2年 茨 直輝 (宍戸ゼミ)	2年 倉本 大輔 (桑野ゼミ)
	3年 檀上 海玖 (池田ゼミ)	3年 後藤 公香 (豊山ゼミ)	2年 今重 闘志 (加藤ゼミ)
その他	2年 川嶋 誠 (東山ゼミ)	2年 朝日 輝美都 (宍戸ゼミ)	2年 長田 栞 (桑野ゼミ)
	2年 太治 勇哉 (豊山ゼミ)	2年 岡本 崇汰 (桑島ゼミ)	3年 檀上 海玖 (池田ゼミ)

#### 感想 1

今回、新型コロナウイルスという異常な事態が世の中を覆い尽くした中、中間報告会を今年も行うことができたことが本当に大きかったです。

どのゼミナールも新型コロナウイルスで活動が少なかった中、それぞれのゼミナールの特徴を最大限に公の場で1回生の方々に伝える姿に魅力を感じました。その中で、中間報告会のカメラと司会を務めさせて頂きましたが、緊張のあまりイントネーションや詰まるところがたくさんあり、大勢の人々の前で話すことがいかに緊張感との戦いであるかを肌で感じることができました。

来年時も中間報告会が開催できること、フィールドワークの魅力を伝える機会を携われることを切に願っております。

原田ゼミ 2年 木村彰吾

#### 感想 2

コロナの状況で大学の行事が少なくなっている中で、フィールドワークゼミナールの説明会でした。多くの方に、新しいことに挑戦しようとする前向きな姿勢が見られました。昨年は説明会を聞く側での参加でしたが、今年は運営側に立ち合い、活動できていい経験になりました。

加藤ゼミ 2年 今重闘志